

保護者の皆様

信濃町立信濃小中学校長 武内 裕

令和2年度 学校自己評価アンケートの結果について

日頃より学校の教育活動にご支援ご協力を賜り感謝申し上げます。また、今年度の学校自己評価アンケートにご協力いただきありがとうございました。結果と今後の取組について報告いたします。

1 児童生徒アンケートから

- 初等部、高等部共に、どの項目においても肯定的な回答が概ね8割以上を占めています。よい点を更に継続して、より一人一人の児童生徒の状況や学年の発達段階に応じた指導を行ってまいります。
- 初等部では、授業について、わかりやすさや質問や発表をしやすい雰囲気についての肯定的な回答の高さは昨年度と同じですが、『知りたい』『やってみたい』などと感じる授業』についての肯定的な回答が昨年度よりやや下回っています。子どもたちの「問い」を大事に捉え、探求的な学びにつなげていく授業づくりを目指して更に研究を進めていきます。また、「誰にでも気持ちのよい挨拶」についても、高等部の児童生徒会活動とからめて、初等部活動としても活発に進めていくことができるよう支援していきます。
- 高等部では「家庭学習」の項目を除いて、授業や学校生活にかかわる全ての項目において、肯定的な回答が9割を超えています。「いじめのない友だち関係」の肯定的な回答が昨年度より増加していることから、教科化となった道徳、人権教育月間等を大事に位置付けていることや、仲間とのコミュニケーションを意識した授業実施の成果だと捉えています。一方で家庭学習の取組についての肯定的な回答が横ばいであることから、今後、授業の中で具体的な家庭学習の進め方やeライブラリの活用等について丁寧に指導を行ってまいります。
- 体罰に関しては、年間2回の調査を実施しましたが、該当する事案はありませんでした。今後も、職員研修を実施し、全職員で体罰の根絶はもちろん、日常的に適切な言葉による指導をしていくとともに、児童生徒の状況や気持ちに寄り添いながらの指導を大事にしていきます。
- いじめに関する項目では、年間2回の調査で全校数名の記述があり、各学級で確認をしました。個人的に言葉や威圧的な態度による嫌がらせ等で不快な思いをした事案で、いずれも該当児童生徒の聞き取りを含めて学級や個人に指導を行っています。調査に限らず、今後も学級や学年で子どもたちの様子について、きめ細かな把握と、職員間の情報共有を大事にするとともに、「いじめはいかなる理由でも許されない」という指導を継続していきます。

2 保護者アンケートから

- 昨年のアンケート結果と比較して、どの項目においても概ね同じ割合となっています。「安全な通学のための適切な環境づくり」「学校の様子がわかりやすい」については、引き続き課題と捉えています。不審者や熊、降雪への対応、弾力的なバス運用、バスの安全運行等、関係機関と連絡を密にしながら安心、安全な環境づくりに取り組んでいきます。また、コロナ禍において新しい生活様式が求められる中、学校だより、メールやホームページ等で学校の様子を分かりやすく発信し、情報を共有できるように努めます。

3 職員アンケートから

- 「生活や体験を通しての学習を充実させ、学習到達度の確認を丁寧に行っている」「気持ちのよい挨拶や誠意のある言葉がけで日常の子どもたちが育つように取り組んでいる」「子ども一人ひとりの日常の様子をていねいに見守り、心身の支援をしている」「子どもたちが学校に楽しく通い、学校生活に満足していけるように実践している」の項目については、肯定的な回答が9割を超えています。今後も児童生徒への支援の充実に向けて、職員一人一人がきめ細やかな対応をしていきます。

その他、保護者の皆様からいただいた貴重なご意見については、学校運営協議会や職員会議等で確認し、職員で検討させていただきました。学校ホームページにアンケートの集計結果の詳細といただいたご意見に対する回答を掲載いたしますのでご覧ください。

アンケート結果やご意見をもとに、来年度も学校運営の改善に努めてまいります。

ご多用のところ、アンケートにご協力いただきありがとうございました。今後ともご意見等ございましたら学校へお知らせください。

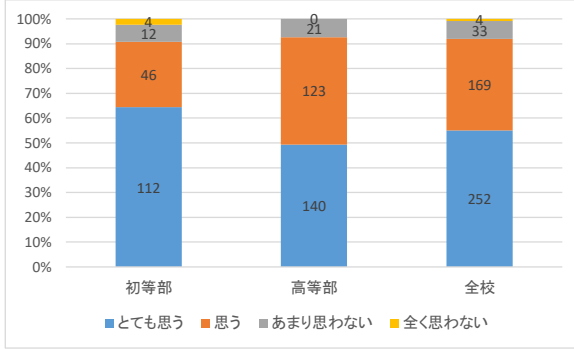
信濃町立信濃小中学校

(副校長) 北垣内 博 (教頭) 高木 淳

TEL 026-255-2373 FAX 026-255-2995

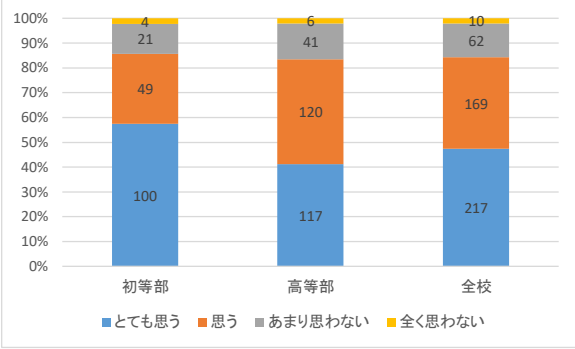
R2 学校自己評価 児童生徒アンケート

I-1 担任(教科)の先生の授業はわかりやすい。

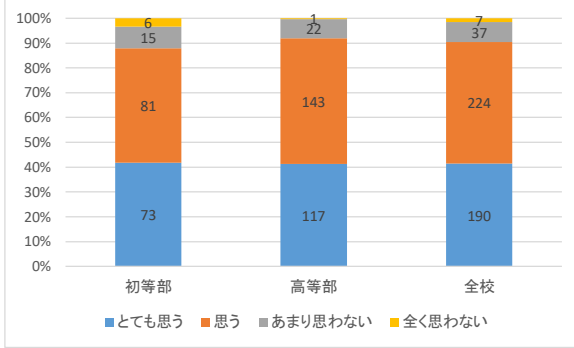


(グラフ内の数値は人数)

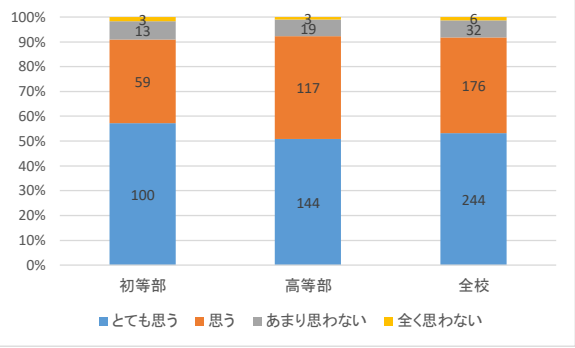
I-6 家庭学習をしっかりとることができるになっている。



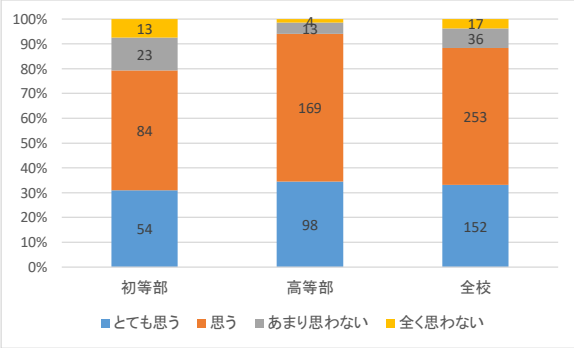
I-2 授業では、「知りたい」「やってみよう」と感じる。



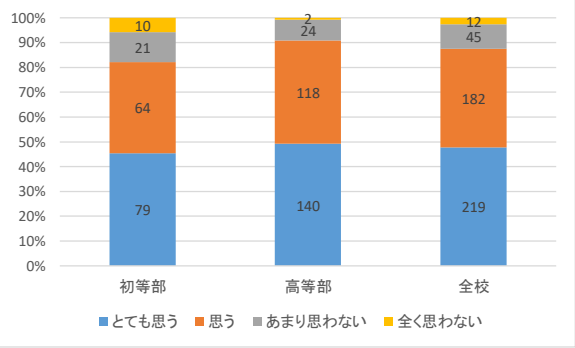
I-7 清掃に意欲的に取り組んでいる。



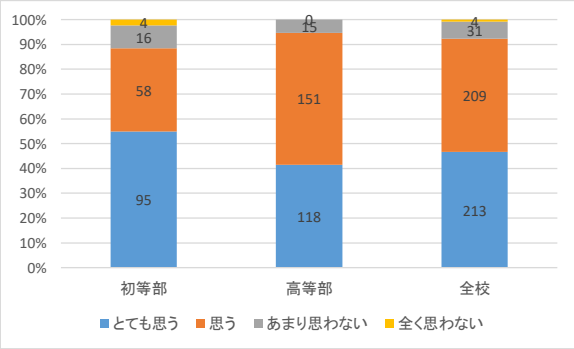
I-3 授業では、質問や発表しやすい雰囲気がある。



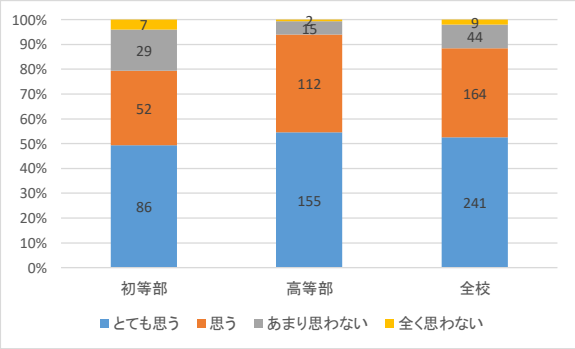
I-8 努力していること・頑張っていることを認められる仲間や先生がいる。



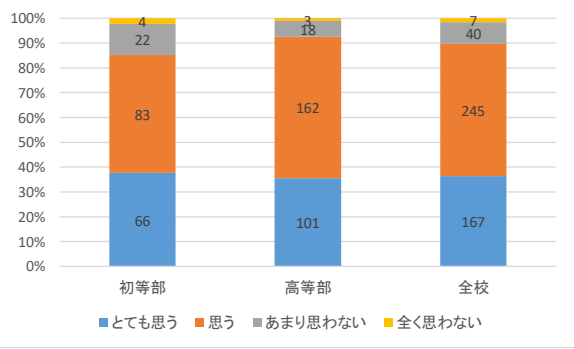
I-4 友達の気持ちを考えて行動したり、意見をしっかりと聞いたりしている。



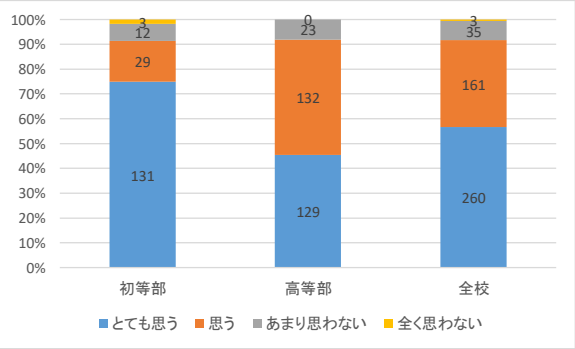
I-9 自分のクラスは、いじめのない友達関係ができています。



I-5 だれにでも気持ちの良い挨拶ができています。

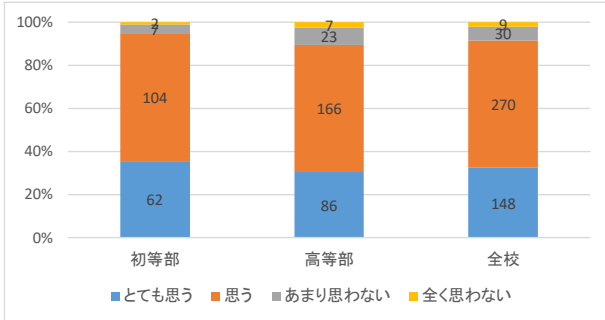


I-10 学校での生活は楽しい。



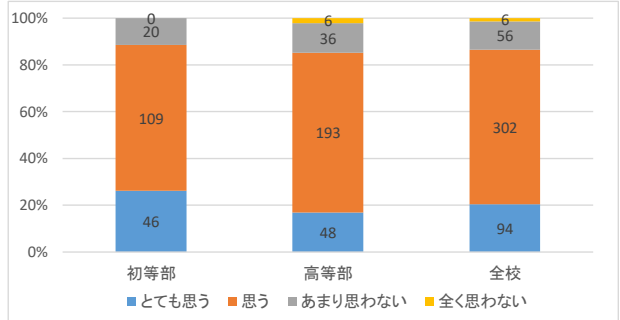
R2 学校自己評価 保護者アンケート

I-1 楽しく学校に通い、学校生活に満足している。

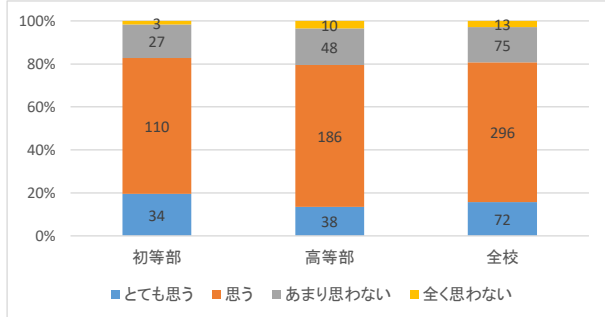


(グラフ内の数値は人数)

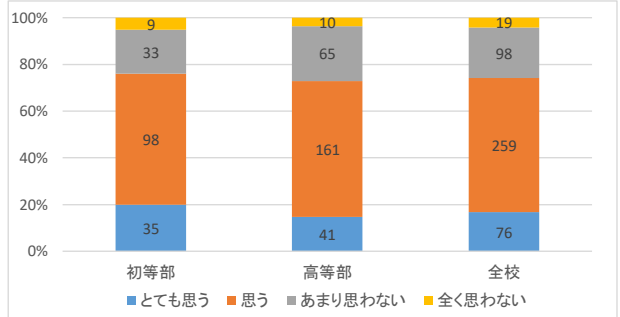
I-6 学校は心身の健康づくりに前向きに取り組んでいる。



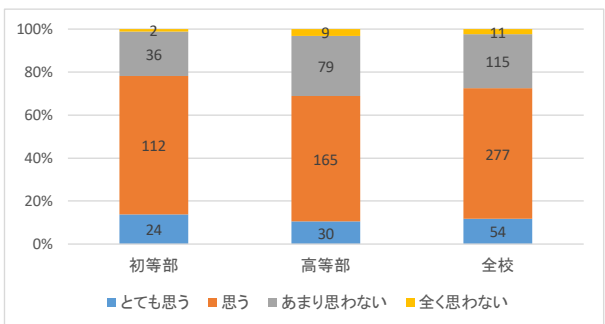
I-2 わが子は主体的に学んでいる。



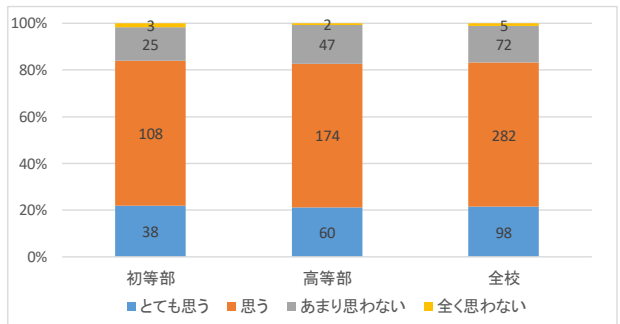
I-7 安全な通学のため、適切な環境作りが進められている。



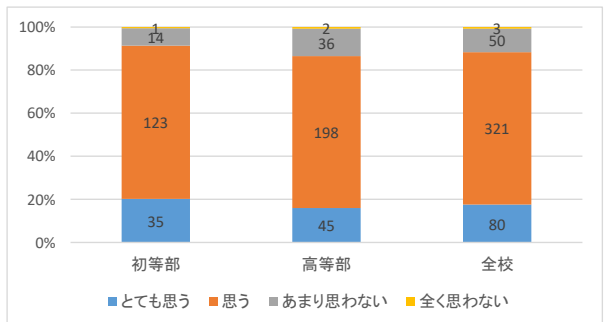
I-3 わが子は、授業の内容を理解していると思う。



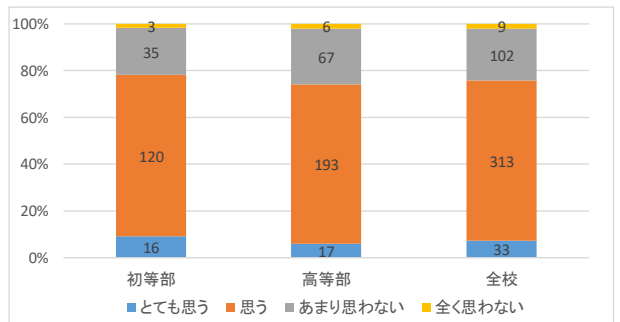
I-8 学校の様子がわかりやすいと感じる。



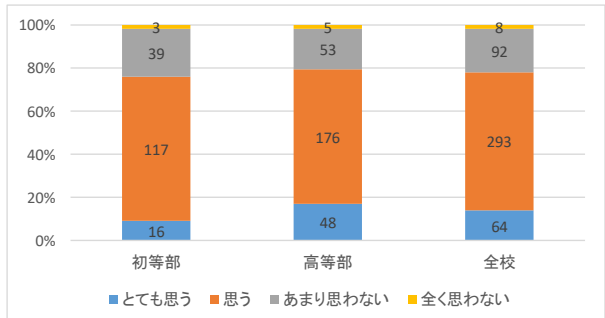
I-4 学習の様子や課題を、学校が適切に示している。



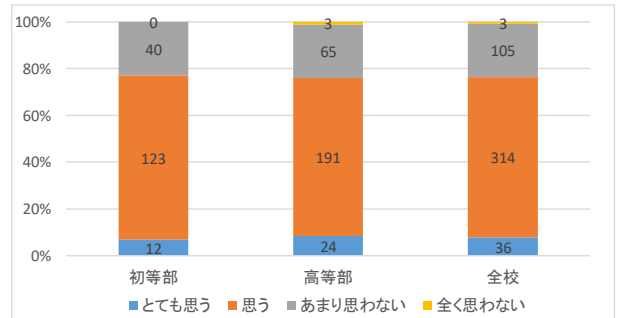
I-9 保護者として、学校教育環境の向上に向けて取り組んでいる。



I-5 挨拶や礼儀正しい行動ができていると感じる。



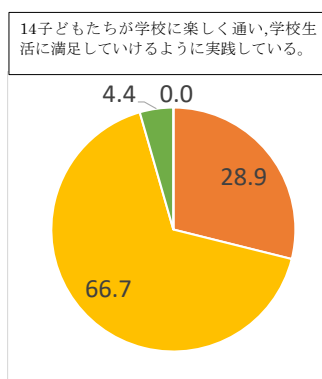
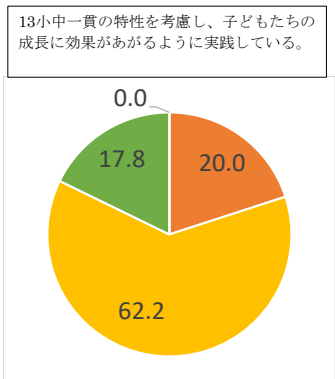
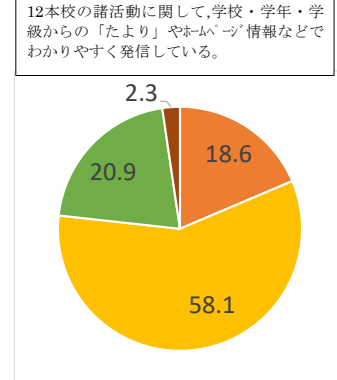
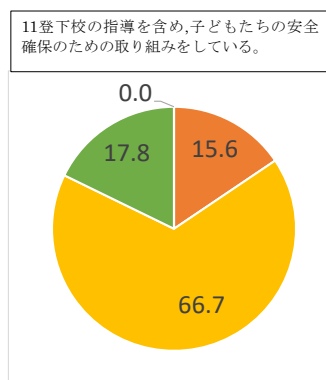
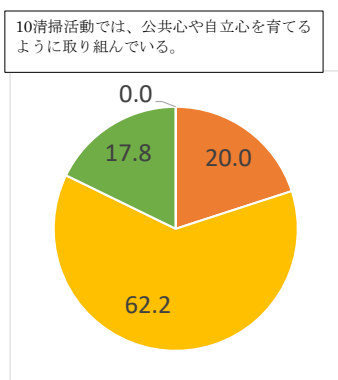
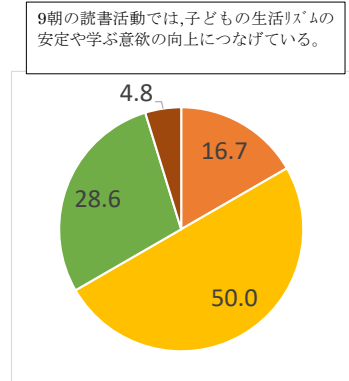
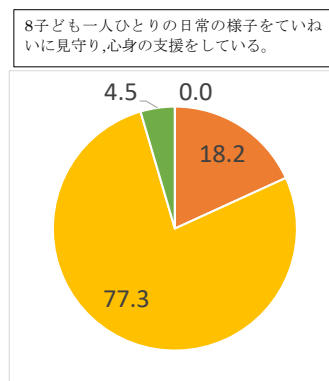
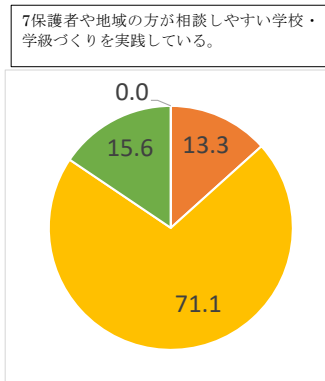
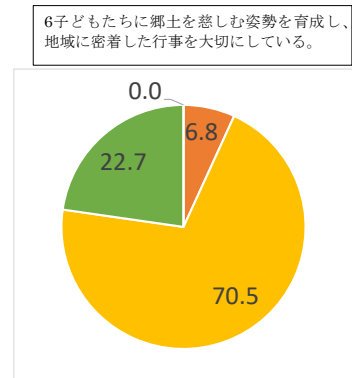
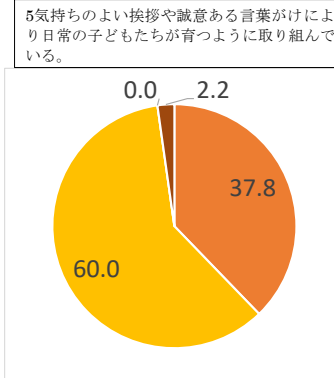
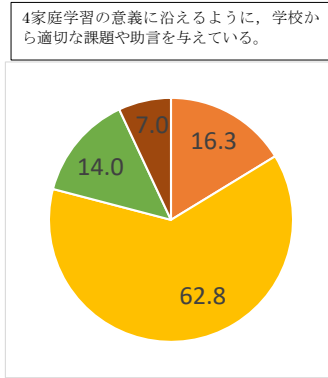
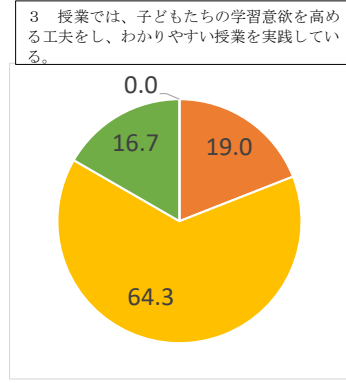
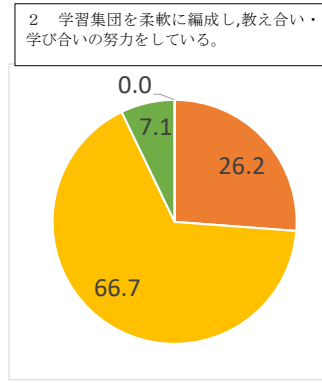
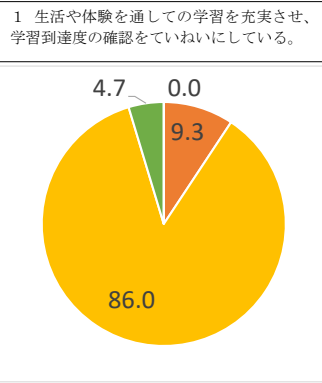
I-10 家庭学習の環境づくりに努めている。



R2 学校自己評価<職員用>

凡例： ■ とても思う ■ 思う ■ あまり思わない ■ 思わない

(括弧内の数字は%)



学校自己評価アンケート 学校への提言・要望についての回答(1・2学年)

学習指導、家庭学習

- ・5年生の教科担任制については少々疑問があります。もう少し教科担任の先生と担任の先生が連携していただけるとありがたい。
- ・今年度から文科省の学習指導要領が改訂され、アクティブラーニングがはじまっていることと思いますが、学校として特に取り組んでいたり、先生自身が意識して取り組めるように学校が動いているのでしょうか。子どもが1年生ということもありその変化がよく分かりません。子ども一人ひとりに寄り添い、子どもが自ら主体的に学び興味の幅を広げていくことができる学校教育であって欲しいと願います。保護者として、町民として協力できることがあれば協力したいと思います。
- ・家庭では勉強が苦手ややる気がないので、学校で授業をお友達と元気に学べているようなので安心しています。

〈回答〉

保護者の方にも積極的に学校教育に関わっていただけること、ありがたく思います。どのような形で協力していただくか、検討をしていきたいと思えます。様々なご意見を参考にし、全職員で周知し、改善できるところは改善していくよう努めていきます。

- ・学年で家庭学習の内容は合わせていただきたい。となりのクラスはプリント1枚、音読もたまになどレベルに差が出てしまい、クラス替えの時にできる子ができない子に合わせるようになるのはおかしい。来年度のクラス替えが心配。

〈回答〉

学級編制があることも踏まえ、学年内で学習や生活指導の内容に大きな差が出ないように、学年会でさらなる職員間の連携を取りながら進めていきたいと考えております。

学校生活、生活指導

- ・あいさつができない子が多い(小学生)。

〈回答〉

児童への指導はもちろん継続していきますが、大人(職員、保護者、地域)が率先して見本を示していかれるようにしていくよう心がけたいと思えます。

- ・理由がよく分からない校則を見直してもらいたいが、見直しの予定はあるか。
ハイソックスがだめ。ハーフパンツと長ジャージの重ね履き。ソフトモヒカンで注意された(との話をきいた)。登校時の格好で帰宅しないといけない(朝ジャンパーを着て、帰り暑くてジャンパーを着ずに帰るのはだめ)。寒がりの子、半袖Tシャツの下に長袖肌着を着てはいけない。
寒い暑い感覚は一人一人違うのに制服はこうあるべきが強すぎて本来の子どもの健康や自分で調節する機会をうばっているように感じます。

〈回答〉

服装の指導については学年に応じてしていく必要があります。低学年の場合は、自分で気温に応じた衣服の調整が難しい場合もあるため、ある程度職員の方で声かけをしていく必要があります。また、持ち物の管理という点で、到着してきた衣服については帰りには少なくとも持ち帰るように指導をしています。感染症拡大防止の対応も含め、服装等も見直しが必要なところは検討をしていきます。

学校行事

- ・授業参観を学年ごとに日をわけて行くと、子どもが多い親は何日も学校に行かなければならないので1日にしてほしい。

〈回答〉

感染症拡大防止のために、密を防ぐという観点で授業参観の日程を組んだことをご理解ください。

安全指導

- ・徒歩通学ですが、歩道がないので安全と言えない。

〈回答〉

現在、来年度に向けて登下校班等、通学方法の検討を進めています。町教委等、関係機関とも連携し、児童生徒にとって安心安全な登下校になるように検討を進めております。

- ・バス内は子どもだけの環境なので自由にやっている様子。正しいこともわるいことも。運転手さんの中にあいさつをしてくれない人が一人いると聞きます。
- ・自転車に乗っている子どもがルールを知らなすぎてあぶない。轢きそうになった。

〈回答〉

安全指導についてはその都度学年、学級等で指導を継続していきます。また、一斉下校などの機会に合わせてバス乗車のルールなど確認をしていきます。

その他

- ・毎日の授業を楽しんでいるようで、帰ってきてから話を聞くのが楽しみです。(お友達のことを含めて)
- ・コロナ禍で、くりかえし使用している学校自己評価用の封筒はちょっと嫌です。
- ・休み時間一人でいることが多く、また男子からからかわれることが多い。

〈回答〉

いただいたご意見については、係・学年で検討し、全職員で周知徹底してまいります。学級編制の際などの児童生徒の指導に関わる情報交換については、関係職員での連携を取りながら進めてまいります。

学校自己評価アンケート 学校への提言・要望についての回答(3・4学年)

学習指導、家庭学習

- ・教科担任と担任との連携がもう少しあるとよい。
 - ・ALTの先生方と休み時間などにも交流(遊び)できたらよいと思う。
 - ・宿題などで学習を見る時、過去に習ったものと差異があり、指導できない。
- 教科担任制の中では、教科担任と担任との連携はとても大切だと考えています。連絡や引き継ぎ、情報交換等を今まで以上に行うようにし、児童・生徒のみなさんが安心して授業に参加できるよう努力して参ります。

学校生活、生活指導

- ・あいさつをしない子どもがいるので、ちゃんとあいさつをしてほしい。
- 児童生徒に積極的にあいさつをしてくださりありがとうございます。あいさつや返礼をすることは大切なことだと考え、目標にして取り組んでいます。これからも、継続して取り組んで参ります。まだ課題の多い部分ですので、今までと同様に積極的にあいさつをしていただけると、児童生徒にとって見本となり、大変有り難いです。- ・男子のかたまり(チーム?)が一人をいじって、またあきるとまた一人をいじって・・・のくり返し。気持ち良い思いをしている人がいるのか疑問がある。集団でのゲームのような感覚でしょうか・・・「いじる」でも、受け取る人によって、いじめにも感じる人がいるのではないか。
- ・「いじり」と「いじめ」は違いますが、今の子どもたちは「いじる」ということばを当たり前のように使い、いじりはいじめではないと言っている子もいます。いじりといじめは紙一重であるし、これからもっと難しい年になってくるので、話し合う時間ももってもらえるといいと思う。
- ・いやなことをされても、いやと言えず困っています。
- ・いじめは先生や大人が見ていない所、いない所である。担任の先生も気づかないと思う。いじめをする家庭に問題があるのではと思う。いじめる側になることは、だれでもなり得ることなので、いじめをした側にもきちんと伝えてほしい。いじめた側にも学校からの指導、家庭内での話し合いが必要だと思う。担任の先生の指導で今は悪口を言う子がいなくて楽しいと元気よく登校しています。ありがとうございました。

➤ 「いじめ防止対策推進法」を基に、学校では、『言われた子、された子が嫌だと感じれば、それは「いじめ」である。』ということ、授業や学校生活の様々な場面で継続的に指導しています。発達段階にある子どもたちは日々変化しますので、保護者の皆様にご心配をおかけすることもあろうかと思いますが、学校と家庭が連携し、粘り強く指導や支援を継続していきたいと考えております。

安全指導

- ・徒歩通学だが、歩道がないのであまり安全とは言えない。
- 現在、来年度に向けて通学方法の検討を進めています。児童生徒にとって安心安全な登下校となるように進めておりますが、町や学校で把握できていない危険箇所については、お伝えいただけたらと思います。

その他

- ・学校の様子がもっとよくわかるようにホームページ等を活用してもらいたい。コロナの影響により、学校行事が減り、保護者が学校へ行く機械も減り、先生方に会うことも他の保護者に会うことも減った。そのため、学校での出来事を子どもから聞くしかなく、以前と同じような頻度で届くお便りで良いのかと思っている。時々HPも見ているが、あまり更新されている様子もない。校長先生のブログなど、もう少し学校から日常のことで良いので、日々の生活が分かるようなものを発信されてもよい

のではないか。(3年)

- ・可能であれば学校の様子を HP にのせてほしい。音楽祭のスケジュールなども HP にのせるなど活用してほしい。(3年)
- ・コロナ禍で、学校への行事や参観できる機会も減り、様子がなかなか伺えない。学校便りも写真を載せてくださっていますが、白黒でわかりづらく、せめて HP にもと思いチェックしても更新が全くされておらず残念。(4年)
- 貴重なご意見ありがとうございます。ご指摘いただいた点については、学校としても課題だと認識しており、改善するように努めます。「開かれた学校」を目指し、今後も学校や子どもたちの様子を、ホームページや学校だより、学年通信等を活用したり、新たな発信方法を検討したりしながら、分かりやすく保護者や地域の皆様に発信できるように努めて参ります。

- ・アンケートの質問に「どちらとも言えない」を入れてほしい。

- ・今年度の授業参観はコロナの心配もあるので実施しないほうがいいと思う。
- 今年度は刻々と変わる感染状況に応じて、可能な形を模索し、様々な形で実施してきました。今後も、考えられる形で実施できればと思いますが、感染症対策を十分に行えない場合は、授業参観を中止することも検討して参ります。

- ・地区によって子どもの人数がないので、資源回収は来年度はやらない方向でいるのでしょうか。
- PTA としては、来年度は2回実施予定です。地区としてどのような形が望ましいか地区懇談会などで検討していただければと思います。

学校自己評価アンケート 学校への提言・要望についての回答(5・6学年)

学習指導、家庭学習

- ・今のクラスは楽しく、担任の先生の授業も分かりやすいと言っています。ありがとうございます。

学校生活、生活指導

- ・子どもがゲームに関連したいじめにあった時に、先生がすぐに対応してくださり、相手の子どもと我が子の間をとりもってくださったり、話し合いの場を設けてくださったりとすぐに動いてくれたのが本当にありがたかったです。
- ・時々、体育会系な指導で子どもが怖いと言っていることがある。厳しくして伸びる子、褒めて伸びる子を見極めてほしい。
- ご意見を真摯に受け止め、今後も一人一人の子どもたちの学びや、育ちに配慮し、誠実かつ適切な指導に努めて参ります。
- ・防寒対策や熱中症対策が不十分のように感じる。冷暖房設備が不十分なので、衣類で調節させてほしい。特にコロナの影響で換気をしたり、体調管理に敏感になったりしているので、運動着（半袖）以外でも仕方ないと思う。
- 学校生活における服装は、「集団や社会の中で大切だとされている『T（時間）P（場所）O（状況・目的）』や所属する集団のきまり等を適切に判断すること、「体温調節は衣類での調節が基本」であることを基本に指導しています。また、暑さや寒さへの対応は、制服や、運動着の内側に着用する衣類で体温を調節することを原則としています。しかし、児童生徒の健康面や状態は個々に違いますので、必要に応じて個々に配慮したり、柔軟に対応したりします。ご心配なこと等がありましたら学級担任等へご相談ください。

学校行事

- ・先日、授業参観に行った際、教室が子どもでいっぱい、保護者が廊下で密でした。他の方法も検討していただけたらと思います。
- 第3回授業参観日は、学年PTA・学級PTAの実施有無や、PTA会合等を総合した結果の対応でしたが、感染症対策等を心配される声も確かだと思います。今後は、地区別や学級内を複数に分けた時間制等も検討して参りますが、感染症対策を十分に行えない場合等は、授業参観を中止すること視野に入れて検討して参ります。

安全指導

- ・登下校時の指導をもっとやってほしい。1人で帰ることのないよう、同じ方面の子ども同士と一緒に帰らせる等の指導をしていただけると安心です。
- 現在、来年度に向けて登下校班等、通学方法の検討を進めています。町教委等、関係機関とも連携し、児童生徒にとって安心安全な登下校になるように検討を進めております。

その他

- ・夏休みのプール開放を復活させてほしい。（PTA主体なのは分かっていますが・・・）
- 地域性等からプール開放に対するご要望があることは承知しておりますが、現状のPTA活動や、プール開放における安全管理上の課題等を勘案すると、プール開放の再開は非常に難しい状況にあります。

- ・今年には学校に保護者が行けないので、自分の子どもの担任しか分からず、先生方の様子が分からない。
- ・特別な行事があった場合等は、学級通信や学年通信をカラーにしてほしい。(写真が見にくい)
- ・今の時代、先生は本当に大変なお仕事だと思います。そんな中、良い先生の評判、悪い先生の評判、色々と聞きます。あくまでも評判と思い、先生方を信じて子どもたちを任せております。これからも適切なお指導を宜しくお願い致します。(学校全体に対してです。)
- ・学校統合前は、朝や放課後に走ったり、クロスカントリースキーをしたりしていたようです。当時のお子さんは意欲的で、健やかで、勉学もスポーツもよくできていたと聞きます。競うことを“悪いこと”として運動会やマラソン大会(記録会)では競わせない傾向にありますが、もっと競わせて切磋琢磨できる人間力を磨いて欲しいと願います。競うことから逃げたり、負け癖がついたりしてしまっても、結局、高校受験では競うという現実に向き合うこととなります。

➤様々なお意見につきましては、真摯に受け止め、改善できるところは検討をし、全職員で周知してまいりたいと考えております。

学校自己評価アンケート 学校への提言・要望についての回答(7・8・9学年)

学校生活

< 8 学年 >

- ・新型コロナウイルス感染症で色々な事が制限され、難しい状況も増えているかと思いますが、再度感染拡大する可能性もあります。子どもたち同士が関わりを深められるように考えていただければと思います。

< 回答 >

- ・児童生徒同士の交流や学習は、児童生徒同士や教員と児童生徒等の人間関係の構築を図ったり、児童生徒自身が活動を通して自己肯定感を高めたりする等、教育的意義が高いと考えております。今後とも新型コロナウイルス感染症対策を十分に徹底しながら、児童生徒同士が関わり合いながら自らの学びを広げたり深めたりしていくことができるような教育活動を引き続き検討して参ります。

生活・生徒指導

< 9 学年 >

- ・参観日に行った時に掃除後の着替えをしていたが、密であった。新型コロナウイルス感染症が落ち着くまで制服での生活を無理にしなくてもいいと思います。他校はやめているところもあります。運動着は毎日洗濯しますし、清潔です。制服は毎日洗濯できません。生徒指導も大切ですが、まずは新型コロナウイルス感染症から身を守らせたい。

< 7 学年 >

- ・清掃後、制服に着替えているとき密でした。無理に制服で活動しなくても良いのではないのでしょうか。新型コロナウイルス感染症が落ち着くまで登下校も制服より運動服の方が良い。(他校ではやっているところもあります)
- ・新型コロナウイルス感染症の影響で室内換気などをするのは理解しているが、子供達の防寒対策などももう少し考えてもらいたい。

< 回答 >

- ・後期課程の学校生活における服装は制服を基本としています。技能教科の授業や清掃時などは運動着に着替えてから活動をするようにしています。また、防寒や熱中症への対応は制服や運動着の内側に着用する衣類で体温を調節することを原則としています。しかし、児童生徒の健康面や新型コロナウイルス感染症対策に対しては必要に応じて個別に配慮をしたり、柔軟に対応をしたりしていくことが必要と考えております。生徒指導係と連携しながら状況に応じた対応を考えていきます。

学年行事

< 7 学年 >

- ・8学年の2月になった修学旅行ですが、9学年の春の方が良いと思います。(風邪等流行する時期、一年で一番の寒さ、雪の中行くのはどうなのか・・・)

< 回答 >

- ・現8年生は令和3年2月から令和3年7月もしくは8月に実施する日程に変更しました。また、現7年生は令和4年4月に実施する日程で修学旅行の計画を進めています。詳しいことは各学年より学年PTA等で連絡をさせていただきます。

安全指導・通学バス

< 9 学年 >

- ・校外指導部等で危険箇所を学校へ知らせたが、対応策などが聞かれない。

< 回答 >

- ・危険箇所については、学校単体で改善することが難しい事例がほとんどです。そのため、提出していただいた後、町教育委員会や警察等の関係機関にその都度伝えていきます。その後、警察などとも協力し、現場確認を行っています。しかし、各種法規などの兼ね合いなどから、すぐに改善するこ

とができなかったり、改善自体が困難であったりすることもあります。その結果をお伝えしていないため、不安と心配をおかけしています。返答がない場合や改善が行われない場合は、対応することが難しい事案であることとご理解をお願いします。不明な点や具体的なことについては、学校までお問い合わせください。各種機関に具体を確認します。（この件については、昨年12月1日の校外指導部会にて、部員の皆様にはお伝えしました。）

<7学年>

- ・部活バスを利用する子供達や保護者に何も連絡なしで、冬日課だからという理由でなくなってしまう。せっかく部活に入ったが、合同でやっている部活の為に続けてもらいたい。来年以降、送迎が理由で新入部員が入らなくなってしまう。

<回答>

- ・部活バスは2便下校時に11番バスの空席を利用し、飯綱中まで延長していたものかと思います。冬日課となり一斉1便下校時の場合、本来登録されている利用者数及び車内密を避けることを考えると、十分な空席がないため、利用は難しいと考えます。冬日課中11番バスは2便時の運行はありません。
- ・冬日課のときは飯綱中との授業日課が異なるため、日課に合わせた部活バスの運行ができません。送迎が難しい場合、平日は学校の部活動で実施することも各部活動で検討していきます。今後、児童生徒数の減少に伴い、路線バス及びスクールバスの運行が見直される可能性が高いです。運行経路や利用者数によっては、部活動バスとしての運行が難しくなることも考えられます。11番バスは本来、スクールバスとして運行しているため、登下校手段の確保が第一優先となります。

<7学年>

- ・地域の中にある危険な場所などを提示したマニュアルが必要だと思います。

<回答>

- ・危険箇所については、年3回実施している地区児童生徒会にて、地区ごとに確認をしています。居住地区については、毎年繰り返し確認することで、児童生徒の中に意識付けできるようにしています。また保護者の皆様においては、例年夏に開催していますPTA主催の地区懇談会で情報共有をしていただければと思います。

<7学年>

- ・バス降りてから家までの距離で（150～200m）帰り道がとても暗く心配（一人のため）

<回答>

- ・信濃小中学校は広範囲からの登下校のため、遠方の場合2便下校時であれば、自宅到着が17時頃となり、暗くなる時間帯かと思います。また、部活動終了後は夏場でも暗くなってしまいます。バス下車後に一人となってしまうところはやむを得ないことですので、ご心配な場合はお迎えをしていただけますようお願いいたします。

部活動

<7学年>

- ・中学生に冬日課の5時間授業で部活の活動時間の短縮は必要性があるのか。全てにおいて小学生に足並みをそろえる必要があるのか。

<回答>

- ・本校の児童生徒は広範囲からの登下校のため、冬日課の5時間授業後に部活動を行った場合でも、遠方の場合バス2便下校時であっては自宅到着時刻が遅くなり、周囲は非常に暗くなる時間帯かと思います。大事な成長期にある児童生徒が、教育課程内の活動、部活動、学校外の活動、その他の食事、休養及び睡眠等の生活時間のバランスのとれた生活を送ることができるよう、今後とも部活動においては休養日や活動時間を適切に設定するようにしていきたいと考えております。

<8学年>

- ・バスケ部の練習が、ゴールがなく正規のコートを使つての練習ができない。総体を優先で使えるとか、1体にゴールをつけてくれるとかしてほしい。

<回答>

- ・体育・保健体育科の授業においてもバスケットボールのシュート練習、ゲーム等を行う際に十分に学習を行うことができないことも懸念されます。児童生徒の学習環境は適切に整えていきたいと考えており、バスケットボールゴール設置に関しては保護者の方からこのようなご意見があったことを町の方にも伝えていきます。総合体育館の利用方法については来年度も各部活動間で調整を図りながら進めて参りますのでご理解とご協力の程よろしくお願いいたします。

学校だよりやHP

< 9 学年 >

- ・学校の HP の利用が少なく感じます。新しく来られた先生方など学校便りで紹介してほしい。

< 8 学年 >

- ・校長先生の日記を毎年楽しく拝見しています。子どもの様子、学校行事、先生方の思いなどたくさん伝わってくるものがあります。楽しみにしています。どんどん更新していただけたらと思います。
- ・授業参観や行事が減ったので学校の様子をもっと HP やおたよりで知りたいです。

< 7 学年 >

- ・学校の様子を伺える機会が減る中、HP やお便り等でもう少し様子が伝わるよう特に HP を更新してほしい。

<回答>

- ・学校ホームページや学校だよりの役割は、本校を紹介し、地域や保護者へ情報を提供することで、学校を理解していただき、本校の教育活動をより活性化させることができると考えております。今年度、新型コロナウイルス感染症による臨時休校中には各学年からの課題や学校からの連絡等は学校ホームページを通じて行ったり、新任職員の紹介や音楽会等は Youtube 配信をしたりしながら学校の教育活動等を発信してきました。今後とも学校の様子や学習の成果を精選して継続的に学校ホームページや学校だよりや学年通信等で発信していきたいと考えております。

その他の意見

< 9 学年 >

- ・先生の子どもたちへの発言が気になることがあります。子どもから聞いたので実際どういう状況だったかわかりませんが。
- ・進路指導に関し、担当の先生が担任の先生なのが心強い一方で、他の先生にも客観的かつ専門的なご意見が聞きたいと思う時があります。
- ・受験に向け不安定になる事もありますが、先生方のサポートのお陰で1学期より勉強に向かう姿勢が真剣になってきました。朝学など環境を整えて頂きありがとうございます。又、週に何度も発行される学級通信は子どもたちの様子が知れたり、先生の言葉に感動したり、日々楽しみにしています。お忙しい中、本当にありがとうございます。

< 8 学年 >

- ・先生方が、生徒に対し、平等に指導してくださることを信じ、子どもたちを学校へお任せします。これからも宜しくお願いいたします。
- ・担任の先生が、とても生徒の気持ちに寄り添ってくれて理解のある先生でとてもありがたいです。今後ご指導よろしくお願いいたします。

< 7 学年 >

- ・校内規則や制服ルールなどを掲示したマニュアルが必要だと思いました。
- ・相手を意識することが弱いと感じる。学校を訪れても会釈を含め挨拶を先にしてくれる人は少ないと感じる。先日、下校時、横断する生徒が見え、車を止めたが、渡り切っても何の反応もなく寂しさを覚えました。当たり前と思うことでも感謝し、相手にとって傷つくと思えば我慢し、相手のためと思えば言いにくい事でも伝えるなど相手を考えてほしい。コロナウイルスで自粛していた時、人との関わりが大切だと自覚しなかったですか？

- ・「いじり」ということばがよく使われているようです。いじり＝いじめではないと勘違いしている子どもさんもいるので、一度ゆっくり話し合っただけのといいと思います。（他校でも取り組んでいるようです）
- ・登下校に約50分程かかり（徒歩で3.2KM）そうじの残りなどで（本人が言っていました）暗くなってから帰宅することもありました。本人が悪いのはしかたないと思いますが、安全面を考えると暗くなる頃まで残すことはどうでしょうか。両親も働いていて自分達が帰宅している時間（17：40～18：00）に子どもが帰宅せず、学校まで見に行ったことも実はあります。少し考えていただきたい。本人が自分が悪くないのに残されたと気分を悪くして帰宅したこともあり。
- ・学校生活がつらいようです。
- ・学校での様子は一度教科ごとの先生に話しを聞いてみたいです。
- ・学校に行けていないのですが、先生方にたくさんの支援をしていただいて私共は非常に感謝しています。家庭訪問や中間教室等支援会議もありがとうございます。
- ・保護者にも子供達にも説明できる場が少ないのかもしれないのですが、急に知らされることが多く、とまどうことが増えました。よくわからない、どう受け止めてよいかもわからないことやどうしていいかわからないこともあります。私はとまどったらすぐに先生にお話しして不安を解消し、伝え合うことができますが、自分の中でとどめて不安のままにしてしまう保護者も多いかと思います。実際に不安が大きくなると悲しく、怒りがでてくることがあります。これは私の経験上の話ですが。大切なことほど、きちんと説明していただきたいです。
- ・クラスの子からいやなことをされていたことに対して早めに対応していただきました。ありがとうございます。これからクラス替えもなくいやでもやっていかななくてはならないので、心配していましたが、見守っていただけると幸いです。また、コロナが流行しはじめているようなので、心配です。もし、お休みになってもその分の休みが少なくなるのはかわいそうなのでできればいつも通りの冬休み休みなどにしてほしいです。
- ・先生のタバコのおいが気になります。

<回答>

頂いた様々なご意見につきましては、各係でも検討を進めながら、全教職員で周知徹底して参りたいと考えております。ご多用のところ、アンケートにご協力いただきありがとうございます。